

# 子牛を元気に育てるコツ 観察・記録

子牛を元気に育てるコツは、「意識的に観察し、チェックすること」です。観察は、最低でも朝夕のほ乳や給餌時、それ以外でもできる限り、時間を作り行いましょう。

## 観察の 時間を作る

決まった時間に観察をする。また、作業動線上に子牛のエリアを配置するなどして観察の機会を増やす。

## 観察ポイントを決める

注意深く、意識的に見て、子牛の状態をとらえる。毎日同じ状態を観察できるように観察ポイントを決める。

## 必ず 記録に残す

異常に気付いたら、すぐに忘れないように必ずノートやホワイトボードなどに記録を残す。

## 観察ポイント（例）

| 項目  | 平常時                       | 悪い方向への変化             |
|-----|---------------------------|----------------------|
| 反応  | ほ乳時間に人の顔を見てすぐに立ち上がる（活気あり） | ほ乳時間なのに反応が悪くなる（活気なし） |
| 鼻   | しっとり濡れている                 | 乾いてくる                |
| 耳   | ピンと立っている                  | 元気なく垂れている            |
| 目   | 輝いて生き生きしている               | くぼんでくる               |
| 毛並み | 毛づや良く、整っている               | 毛羽立ってくる              |
| 呼吸  | 落ち着いている                   | 荒くなってくる              |
| 便   | 固く締まっている                  | 軟便、臭い、色の変化           |

## ちょっとチャレンジ！！ 子牛の健康度チェック

|        |                          |                             |
|--------|--------------------------|-----------------------------|
| チェック内容 | 子牛の背中を触ってみる（肉付き度）        | 子牛を横から押し、どの程度押し返す力があるか（活気度） |
| 良好     | 背骨や腰骨が触れないくらいの肉付きが良い     | 力強く踏ん張る                     |
| 不良     | 骨ばって痩せているのはダメ（病気か栄養不足です） | 弱い牛は押すと倒れてしまう               |



※ 3週齢の子牛を対象に、給餌時（ほ乳時）の観察が最適

子牛を観察するときに、子牛情報（誕生日、ミルク給与量など）がわかると現在の健康状態を把握するのに役立ちます。ここでは、子牛情報の記録事例と見える化を実践している工夫例を紹介します。

## 子牛情報の記録～「健康チェックシート」の活用

健康チェックシートは、子牛の状態を記録していくシートです。子牛の観察結果や処置の経過を確認できデータ（記録）として残ります。このシートを使うことで観察眼が養われ、安定した管理が可能となります。

| 調査月日 | 番号  | 生年月日 | 反応   | 糞状態 | 脱水状態 | 体温(°C) | 処置 |
|------|-----|------|------|-----|------|--------|----|
| 1/10 | 100 | 1/1  | 元気なし | 水様  | △    | 39.7   | 補液 |
| 1/10 | 110 | 1/2  | 耳垂れ  | ○   | ×    | 38.9   |    |
|      |     |      |      |     |      |        |    |

健康チェックシート（事例）

## 子牛情報の見える化～お助けツールの紹介

ホワイトボード：マーカーの利用



ホワイトボード：マグネットの利用



カーフハッチ：子牛情報をガムテープで



カンバン：ホワイトボードの利用

